

寄稿

子どもも大人も共に育つ地域を

おだわらを拓く力

加藤 憲一

市民が主体となり、活力溢れる地域社会を皆で創る上で、最も重要な課題は「教育」です。子どもたちが社会の中で生きる人としてしっかり育つ仕組みはもちろんのこと、親や大人たちもまた役割と責任を持つ地域の構成員として、学び直し交流してゆける仕組みが必要だと、私は考えています。

「鎌倉でらこや」という取り組みが、5年前から鎌倉市で行われています。子どもと、家庭・学校・地域を結ぶことの大切さは昔から言われていますが、それを今の地域社会の中で見事なモデルとして実現されているのが、この取り組みです。合言葉は、「親が育ち、子が育つ、そんな地域をつくらう」。

鎌倉にある建長寺・円覚寺・浄智寺・光明寺などの名刹、源氏山や材木座海岸などの自然環境、豊富な文化資源とその担い手といった、鎌倉ならではの舞台装置を最大限に活かし、合宿や各種体験学習、運動会、野山での遊びや来づくり、街歩き、手作り緑日など、様々な教育プログラムが濃密に展開されています。早稲田大学の学生たちを媒介に、子どもたち、保護者、青年会議所メンバー、一般市民などが一体となっている様子は、まさに新しいコミュニティの姿を思わせます。

地域の資源と人材を縦横につなぐこの実践は、国内の各地に広がりを見



かとうけんいち
1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長などを経て、現在有限会社あしがら総研代表、妻と子ども2人の4人家族。

ご意見お待ちしております
おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)
小田原市栄町2-13-1-2F
TEL.0465-21-5260
<http://www.katoken.info>

第7回 小田原再生フォーラム

『親が育ち子が育つ 地域をつくらう』

◆1月19日(土)小田原市民会館6F

「鎌倉でらこや」の取り組みに学ぶ

小田原の直面する課題に答えを見出そうと、(仮)あしがら総研(加藤憲一代表)では毎月「小田原再生フォーラム」を開催している。今回のテーマは教育。親が育ち、子どもも育つ、そんな地域をつくらう。を合言葉に、鎌倉

市で進められている地域ぐるみでの教育「鎌倉でらこや」の取り組みから、小田原での教育のあり方を考える。講師は「鎌倉でらこや」理事長で早稲田大学教授の池田雅之さん。講演後はシンポジウムも。

◆1月19日(土)午後2時～午後4時、小田原市民会館6Fにて。参加費1000円。定員70人(要予約)。申込みは1月16日(木)まで受付。



講師 池田 雅之さん
NAO法人鎌倉でらこや理事長

問合せ・申込み先
(仮)あしがら総研
0465・20・05
75/0465・20
0570/asibara
souken@nifty.com